

作成日
改訂日

平成28年11月2日

標準施工仕様書

製品名 Florire Neo

仕様

株式会社Ecola

製品概要

適用箇所	屋内・屋外壁面
適用下地	コンクリート面・セメントモルタル面・プレキャストコンクリート部材・ALCパネル・その他各種板・ボード類等。
施工不可部位	天端(笠木・手すり・セツバック等)や幅木、ハラベット

施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 3 コンプレッサーは2馬力以上のものをご使用下さい。
- 4 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 5 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 14 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 15 その他の注意事項
 - ①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
 - ②材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

施工の区切りについて

大面積の場合、施工が困難となりますので、次のような処置を行って下さい。

- 1 躯体目地を利用して下さい。躯体目地に沿ってテープ養生し、1スパン毎に仕上げして下さい。隣接する仕上がり面に施工しないように、アテ板養生又は逆養生を行って下さい。
- 2 テープ等により、目地を設けて下さい。水平及び垂直にテープ等を貼り付けて、目地を設けた後、逆養生してスパン毎に施工して下さい。
- 3 大面積の場合は、設計段階で許される範囲内で、できるだけ目地を設けるようにして下さい。

安全衛生上の注意事項(水性)

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

標準施工仕様

本施工に入る前に試験吹きを行い、吹き付けのタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
 下表の数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。
 標準とは気温23℃±2℃、湿度50%±5%の場合です。低温・高湿の場合は、間隔時間を長めにとって下さい。

工程	使用材料名と調合割合	塗布量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1	下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・下地の種類によって適切な処理をしてください。 ・新設下地は別途シーラーが必要です。 ・改修の場合、脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)、補修を行って下さい。 旧塗膜の劣化が著しい場合は、シーラー処理が必要です。 			
2	下塗材	Florire Neo〔下塗り材〕 15kg 清水 0～0.5kg	0.3～0.4 リシガン ウールローラー	1	4時間以上 3日以内
3	上塗材	Florire Neo 16kg 清水 0.2～0.8kg	0.6～0.7 器具: 万能ガン 口径: 5.5mm 圧力: 290～390KPa	1	24時間以上 (最終養生)

塗装上の注意事項

Florire Neo〔下塗り材〕

- 1 15kg/缶に清水0～0.5kgを加え、均質になるまで十分に攪拌し使用して下さい。
- 2 所要量は0.3～0.4kg/m²を標準とし、下地が均一に隠蔽するように斑なく吹付けて下さい。
- 3 材料が垂れないように吹き過ぎに注意して下さい。
- 4 4時間以上十分乾燥させ、乾燥成膜していることを確認してから上塗材を塗布して下さい。
- 5 必ず対応する色調のものを使用して下さい。

Florire Neo

- 6 16kg/缶に清水0.2～0.8kgを加え、均質になるまで十分に攪拌し使用して下さい。
- 7 施工器具は万能ガン5.5mmを使用して下さい。
- 8 所要量は0.6～0.7kg/m²を標準とし、均一な仕上がりになるように斑なく吹付けて下さい。
- 9 万能ガンが被塗装面に対し垂直になるように保ち30～50cm程度の距離で、エア圧の調整をし正面から塗装して下さい。
- 10 斜めからの吹き付けは塗料の片寄り、吹きムラの原因となります。
- 11 万能ガンの口金は摩耗のないものを使用して下さい。
- 12 コンプレッサーは2馬力以上のもので出力に余裕のあるものを使用して下さい。
- 13 部分的な塗布量の過不足は色ムラの原因となります。
- 14 フレックがガン先に詰まった場合は、ノズルを動かし、詰まったフレックを飛ばしてからノズルを所定の位置に戻して塗装して下さい。
- 15 複数の吹き手で仕上げる場合は、必ず相互の仕上がりが揃うように事前に打ち合わせを行ってください。
- 16 最終養生時間は24時間以上として下さい。低温施工時は樹脂の乳白色が完全に消えるまでに24時間以上要することもあります。

以上